



2018年5月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学

特別展「釈宗演と近代日本」を開催（6/4-8/6） —初めてZENを世界に紹介した福澤門下生—

世界にZEN（坐禅）を紹介した禅僧・釈宗演（1860-1919）の100回忌を記念して、宗演が管長を務めた臨済宗円覚寺派と、宗演が学んだ慶應義塾の共催により、その生涯を振り返る歴史展を開催します。宗演は明治大正期に広く尊敬を集め、政財界の有力者や文化人の信頼も厚く、特に夏目漱石の参禅は有名です。本展では、師の反対を振り切って26歳で入学した慶應義塾時代、パーリ語や仏教を学んだセイロン（現スリランカ）留学時代、そして1893年にシカゴで開催された史上初の宗教間対話・第1回万国宗教会議への日本代表としての参加、日露戦争従軍など、宗演の若き日々を中心に、近代日本から世界へと視野を広げた破天荒な禅僧の生涯を、約100点の実物資料で展示します。特別対談や坐禅ワークショップなども開催します。イベント欄への掲載とご取材をお願いいたします。

1. 展覧会概要（慶應義塾大学三田キャンパス）

会期：2018年6月4日(月)～8月6日(月) ＊入場無料。どなたでもご覧いただけます。

【第一会場】図書館1階展示室 9:00～18:20(土曜日は9:00～16:50) 日・祝日休館

【第二会場】南別館1階アート・スペース 10:00～17:00 土・日・祝日休館(ただし、6/23、7/21は開館)

ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/shaku2018/>

Facebook：<https://www.facebook.com/shaku2018/>

2. 主な出品資料

- ・世界に向けた、ZENの世界の紹介のきっかけとなるシカゴ万国宗教会議での演説原稿（新発見）
- ・釈宗演をアメリカ人宣教師に紹介する福澤諭吉の英文書簡（新発見）
- ・セイロン留学時の衣やシンハラ文字のノート ・鈴木大拙に「大拙」という名前を与えた際の書
- ・日露戦争に従軍し、凄惨な現場を目にした際の日記や写真
- ・アメリカ人のラッセル夫人らが初めて坐禅に参加した際の写真
- ・日本画家島崎柳塙による新発見の釈宗演像をはじめ、関係寺院に伝わるゆかりの近代美術作品など

3. 関連イベント概要（慶應義塾大学三田キャンパス）

■特別対談「釈宗演とグローバル化」

横田南嶺（臨済宗大本山円覚寺派管長）、馬場紀寿（東京大学東洋文化研究所准教授）

【日時】6月11日(月) 16:30～18:00（開場 15:30）※事前申込不要

【場所】西校舎ホール

■座禅ワークショップ&ミニレクチャー

【日時】6月11日(月)、6月23日(土)、7月12日(木)、7月21日(土)、8月6日(月)

◆座禅ワークショップ（各回先着20名）第1回 10:45～12:15 第2回 13:00～14:30

◆ミニレクチャー 12:20～12:50 ※事前申込不要

【場所】南館3階 旧ノグチ・ルーム

■ギャラリー・トーク

【日時】6月19日(火)、6月27日(水)、7月21日(土) 14:45～（1時間程度）

【場所】図書館1階展示室

■展覧会限定御朱印「円覚寺文殊菩薩」 ※ 図録購入の方のみ・第二会場開館時のみ

※ご取材の際には、事前に下記問い合わせ先までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、文化部等に送信しております。

【本発表資料のお問い合わせ先】慶應義塾広報室（村上） TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640
Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>